



バスラ日誌(2月20日)

1 司令部と居住区の移動は、バスラLO班の高機動車、巡回バスによる他、75cm型人力2足歩行器による。巡回バスは、24時までしか運行していないため、それ以降居住区に帰る場合には、高機を確保しておくか、歩くしかない。先日、24時を過ぎて歩いて帰る途中、ライトを持ってランニングしている人が追い抜いていったので、凄いなあと感じていたら、後ろから「彼はクレイジーだ。」と指差しながら話しかけてくる人がいた。確かに、真夜中にライトを持ってまで走る姿は、やや異常な光景だが、その人の言い方が、またおもしろかったので、笑ってしまった。

全く知らない人だったけど、それから途中のウォーター・ルー居住区で彼と別れるまで、話しながら帰った。「私は、既に4ヶ月をここで過ごしたので、4月頃には帰れると思う。しかし、帰ったらすぐにまたアフガニスタンに派遣されるだろう。」「半年勤務後、引き続き派遣されるのか?」「自分の所属する連隊に派遣命令が出ているので仕方ない。」「そちらの方が真夜中のランニングよりクレイジーだ。」「彼も笑っていたが、英国軍の台所事情もかなり苦しいらしい。(注:ウォーター・ルー居住区は、我々の居住区アレンビー・ラインに隣接する居住区で、司令部寄りにある。)

昨日は、メイサン県評議会議長が、MNFとの協力関係を停止すると発言したらしい。バスラ県評議会に続いて、虐待ビデオ・風刺画問題の影響が拡大しているようだ。

2 本日は、第4の執筆者が、日誌を書きたいと思う。J3では、認識統一のために、毎日朝ミーティングとタミーティングが行われる。ミーティングでは、LOにも発言が求められるので、日本隊の対外調整活動や日本隊に関わる事案及び他部隊と連携する共同訓練等について報告している。特に、J3部長が取り仕切る朝ミーティングでは「No point, sir」の応答はタブー視されつつある?ので、質問があってもいいように十分準備をし、ドキドキしながら発言している。準備を周到にしているためか、いまだに1回も質問を受けていない。各部署の人達は、当然英語が話せる人なので、長い文章で、時々みんなを笑わせるジョークも交えて報告している。私は、ジョークなのか?内容についてなのか?分かっていないが、周りに同調してクスクス笑っている。これからは、私もみんなを笑わせることができるよう、訂正、日本隊の代表として立派に報告できるように、日々精進していきたいと思う。

3 本日、晴れ。今日も寒い、バスラ4名、極めて健康。